



## システム MTU の設定

---

- [システム MTU の制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [MTU について \(1 ページ\)](#)
- [MTU の設定方法 \(2 ページ\)](#)
- [システム MTU の設定例 \(4 ページ\)](#)
- [システム MTU に関する追加情報 \(4 ページ\)](#)
- [システム MTU の機能情報 \(5 ページ\)](#)

### システム MTU の制約事項

システム MTU 値を設定する場合、次の注意事項に留意してください。

- `device` はインターフェイス単位では MTU をサポートしていません。
- `system mtu bytes` グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力すると、そのコマンドはスイッチのすべてのスイッチドポートおよびルーテッドポートに影響します。

### MTU について

すべての `device` インターフェイスで送受信されるフレームのデフォルト MTU サイズは、1500 バイトです。

### システム MTU 値の適用

スイッチスタックでは、スイッチメンバーに適用される MTU 値は、スタックの設定によって異なります。次のスタック設定がサポートされます。

IP または IPv6 MTU 値の上限は、スイッチまたはスイッチスタックの設定に基づいており、現在適用されているシステム MTU またはシステム ジャンボ MTU のの値を参照しています。MTU サイズの設定に関する詳細については、このリリースのコマンドリファレンスで `system mtu` グローバル コンフィギュレーション コマンドを参照してください。

# MTU の設定方法

## システム MTU の設定

スイッチドパケットの MTU サイズを変更するには、次の手順を実行します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： デバイス> <b>enable</b>	特権 EXEC モードを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"><li>パスワードを入力します（要求された場合）。</li></ul>
ステップ 2	<b>configure terminal</b> 例： デバイス# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>system mtu bytes</b> 例： デバイス(config)# <b>system mtu 1900</b>	(任意) すべてのギガビットイーサネットおよび10ギガビットイーサネットインターフェイスの MTU サイズを変更します。
ステップ 4	<b>end</b> 例： デバイス(config)# <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	<b>copy running-config startup-config</b> 例： デバイス# <b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーション ファイルに設定を保存します。
ステップ 6	<b>show system mtu</b> 例： デバイス# <b>show system mtu</b>	設定を確認します。

## プロトコル固有 MTU の設定

ルーテッドインターフェイスのシステム MTU 値を上書きするには、各ルーテッドインターフェイスでプロトコル固有の MTU を設定します。

ルーテッドパケットの最大伝送単位（MTU）サイズを変更するには、特権 EXEC モードで次の手順を実行します。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： デバイス# <b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>interface interface</b> 例： デバイス(config)# <b>interface gigabitethernet0/0</b>	インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	<b>ip mtu bytes</b> 例： デバイス(config-if)# <b>ip mtu 68</b>	IPv4 MTU サイズを変更します。
ステップ 4	<b>ipv6 mtu bytes</b> 例： デバイス(config-if)# <b>ipv6 mtu 1280</b>	(任意) IPv6 MTU サイズを設定します。
ステップ 5	<b>end</b> 例： デバイス(config-if)# <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 6	<b>copy running-config startup-config</b> 例： デバイス# <b>copy running-config startup-config</b>	コンフィギュレーション ファイルに設定を保存します。
ステップ 7	<b>show system mtu</b> 例： デバイス# <b>show system mtu</b>	設定を確認します。

## システム MTU の設定例

### 例：プロトコル固有 MTU の設定

```
デバイス# configure terminal
デバイス(config)# interface gigabitethernet 0/0
デバイス(config-if)# ip mtu 900
デバイス(config-if)# ipv6 mtu 1286
デバイス(config-if)# end
```

### 例：システム MTU の設定

```
デバイス# configure terminal
デバイス(config)# system mtu 1600
デバイス(config)# exit
```

## システム MTU に関する追加情報

### MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィチャセットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 <a href="http://www.cisco.com/go/mibs">http://www.cisco.com/go/mibs</a>

## シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
<p>シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンラインリソースを提供しています。</p> <p>お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報入手するために、Cisco Notification Service (Field Notice からアクセス)、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication (RSS) フィードなどの各種サービスに加入できます。</p> <p>シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。</p>	<p><a href="https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/index.html">https://www.cisco.com/c/ja_jp/support/index.html</a></p>

## システム MTU の機能情報

リリース	変更内容
<p>Cisco IOS XE 3.3SE Cisco IOS XE 3.3SE</p>	<p>この機能が導入されました。</p>

